

そう だい
総 題 「エズラ記とネヘミヤ記」

だいじゅうさん か しどうしゃ
第 1 3 課 イスラエルの指導者たち

たけだ まさや
武田 将弥

いち あんそくにちごご
1. 安息日午後

こんき まな
今期の学びはエズラやネヘミヤという、素晴らしい指導者（リーダー）の生き方を通して、大切なことを学んで
きました。この指導者たちが素晴らしいのは、神様を一番大切にし、神様のご命令を一生懸命に守ったか
らです。

こんかい べんきょう いちばんだいじ
今回の勉強で一番大事だったのは、エズラやネヘミヤが神様のことを愛していたので、自らの気持ちから
神様のご命令を守りたいという思いになったことです。

あい
「愛」とは誰かに押し付けられて、仕方がなく出すものではありません。言われなくても自分の内側から自然に湧
き出てくる「相手を大切にしたい!」という優しい気持ちが本当の愛です。

エズラやネヘミヤは神様を愛していたので、どんなに苦しいことがあっても、神様を信じながら、祈りながら、
必ず助けてくださると信じ続けて忍耐することができたのです。

に にちようび しどうしゃ えいきょうりよく
2. 日曜日：指導者の影響力

せいしよ いろいろ じんぶつ
聖書には色々な人物たちの物語が登場します。素晴らしい指導者であっても時には失敗したり、悪い指導者
なのに良いことをしたりなど、変化があつて面白いストーリーがいっぱいあります。だから聖書の登場人物たちも
「人間」なので、時には失敗や成功もするし、迷ったり目覚めたりするのです。私たちと同じですね。

ところで指導者の問題で大事なポイントは、周りの人たちに大きな影響力を与えるということです。良い
影響ならば全然構いませんが、悪い影響も与えてしまうことも、よく注意しなくてはなりません。

たとえば家族の中で指導者・リーダーといえば、お父さんでしょうか。（最近はお父さんより、お母さんの方が強
いという家も増えているかもしれませんが…）私がまだ4才くらいの時、夕食に「カボチャの天ぷら」が出まし
た。最初はそれを喜んで食べておりましたが、カボチャの天ぷらが3～4日も続いたのです。さすがに私の父親
がカボチャの天ぷらに飽きてしまって、つい「今夜もまたカボチャの天ぷらか～、俺もう食べたくないわ」と言っ
たらしいのです。すると幼い私は父親の言葉を聞いて「…ボクもカボチャの天ぷら嫌い!」と、本当はカボチャが
好きなのに、お父さんが嫌いだと言ったので、息子の私も同調して「嫌いだ」と言ったそうです。それを聞いた
父親は、息子がカボチャ嫌いになったら大変だと反省し「な～んちゃって! ウソだよ～。いやあ～、カボチャの
天ぷらは、本当に美味しいなあ～。お父さんこれ大好き～（もぐもぐ）」と焦ったことがあるそうです。（私はこの

はなし おとな き とき ちい おぼ
話を大人になってから聞きました。この時のことは小さすぎて覚えていませんでしたが

ようするに、しどうしゃ 指導者・リーダーというのは、まわ ひと おお えいきょう あた 子どもの
きょういく おな こども おとな み そだ こども おや せんせい おとな す おな
教育も同じです。子供は大人を見て育ちます。だから子供たちは、親や先生、大人たちが好きなものを同じよう
に好きになったり、嫌いになったりしていきます。

よ ねが わる おお えいきょう あた
これを読んでいるあなたにお願いがあります。良いことでも悪いことでも、大きな影響を与えてしまうこと
ちゅうい にかみさま だいじ とお かみさま あいて つた
とに注意してください。どうか神様を大事にしてください。なぜならば、あなたを通して神様のことが相手に伝わ
るからです。

さん げつようび しゅ あく 3. 月曜日：主が悪とみなされること

かみさま いっしょうけんめい がんば けっか おお ひと れいてき はげ も
エズラやネヘミヤは神様のために一生懸命に頑張りました。その結果に多くの人たちが霊的に励まされて、燃
あ え上がりしました。リバイバルが起こったのです！ しかし、ざんねん か ひと
やネヘミヤたちしどうしゃ 指導者の責任ではありません。とても悲しいことですが、どんなにかみさま はなし き まな
しても、こころ か ひと
心の変わらない人もいます。

ひと うちがわ しんこう か で き ほんにん じぶん こころ かみさま あ わた けっしん で き とき
その人の内側にある信仰を変えることが出来るのは、その本人が自分の心を神様に明け渡す決心が出来た時
だけなのです。だからせかい いちばん すば ぼくし せつきょう ひやくまんかいき さま で あ
世界で一番素晴らしい牧師の説教を、たとえ100万回聞いたとしても、イエス様に出会って
かみさま きせき たいけん じぶん こころ かみさま ゆだ き ひと か ぜったい むり
神様の奇跡を体験したとしても、自分の心を神様に委ねる気がなければ、その人は変わることは絶対に無理だ
ということです。

わたし まわ ひと えいきょうりよく あた せきにん あた でんどう
私たちには周りの人たちに、クリスチャンとしての影響力を与える責任が与えられていますが、伝道して
あいて か こと お こ ひつよう でんどう あいて か
いるのに相手がなかなか変わらないという事で、落ち込む必要はないということです。伝道しているのに相手が変わ
わらないのは、ひとじしん せきにん
それはその人自身の責任だということです。

よん かようび ゆうき はげ 4. 火曜日：勇気と励まし

せいしょ かみさま がた わたし たたか み い わたし しょうり
聖書には神様が「あなた方はじっとして、私が戦うのを見なさい。」と言われることもありますし「私が勝利
さず こうどう じゅんび い わたし かみさま あた
を授けるので、行動をする準備をしなさい。」と言われることがあります。どちらにせよ、私たちは神様から与え
やくわり は かみさま すば しゅくふく すく みわざ み で き
られた役割を果たすことによって、神様の素晴らしい祝福や救いの御業を見ることが出来るのです。ネヘミヤた
てき まも かみさま たい あつ しんらい しんこう しゅ まも
ちが敵から守られたのは、神様に対する熱い信頼と信仰があったので、主が守ってくださったからです。

すいようび もくてき ねつい 5. 水曜日：目的と熱意

しどうしゃ もくひょう せいしよけんきゅう かみさま ことば ひとびと おし
指導者というのは目標をもっているものです。たとえばエズラは聖書研究で、神様の言葉の人々に教えま
ただ かみさま た あ ひとびと ゆうき ふたり しどうしゃ
した。ネヘミヤは正しいことをなして、神様のために立ち上がるように人々を勇気づけました。この2人の指導者
ひとびと かみさま か ふたた かみさま つよ つな くにかいふく ねが
は、イスラエルの人々が神様によって変えられて、再び神様と強い繋がりをもった国へと回復することを願っ
ほうほう じっこう たいせつ いの じっこう
たので、これらの方法を実行しました。ここで大切なのは祈りながら実行したということです。

ろく もくようび けんそん にんたい
6. 木曜日：謙遜と忍耐

ネヘミヤは指導者であり、高い地位にありましたが、とっても謙虚でへりくだった性格の持ち主でした。偉そうにするのではなく、むしろ多くの人たちに恵みを施す、献身的な指導者だったのです。これはイエス・キリストの姿と重なります。私たちもネヘミヤたちがそうしたように、イエス様を模範とする必要があります。

なな きんようび けんきゅう
7. 金曜日：さらなる研究

エズラやネヘミヤたちが行った神殿の再建は、苦勞の連続の経験でした。何度も敵からの反対を受けたのです。しかしどんなに反対にあっても神様への信頼を持ち続け、最終的には勝利を得ることが出来ました。これは終末時代の姿と重なります。再臨の前にも同じような状態がこの地上にも見られるのです。神様が命じられることを守ることによってのみ、勝利が得られることを忘れないでください。

ふ か え しつもん
★振り返りの質問★

あなたの周囲にいる人々を思い浮かべてください。あなたは神様を伝える影響力を持っています。どうしたら自分がもっている影響力を、正しく発揮することが出来るかを考えてみましょう。